

市内福祉施設で いいもの発見♪

クリスマスプレゼントや
贈り物にもどうぞ

市内には、障がいのある方々が通う福祉施設があります。これらの施設では、特色ある製品をつくる方、ダリア園、リス園、フォトサロンのような施設の管理に携わる方、梱包や清掃等の軽作業（請負）をする方など、障がいのある方が日々汗を流しています。

市では授産活動を通じて社会参加をし、工賃を得て自立を目指す障がいのある方及び彼らが通所する施設を支援しています。今回は授産製品を作るいくつかの施設を紹介します。

問障がい福祉課 ☎724・2147、☎724・1191

町田市美術工芸館

忠生3-6-22 ☎793・2227

《2009年の干支の置物》

『うし』を販売しています。

価格（大）2000円（小）500円

《キャンドル》

好評をいただいているキャンドルを販売しています。種類も豊富で置物やお部屋のアクセサリ、贈り物に最適です。価格は、ランタン型800円、押花型350円、アロマキャンドル450円などです。

販売場所 名産品の店まちだ、町田市役所地下売店、町田市美術工芸館

今回紹介する市内福祉施設一覧

下記の製品は、各施設で販売されているほか、「名産品の店まちだ」（小田急線町田駅タクシー乗り場前 ☎723・8130）で取り扱っている製品もあります。ぜひ、ご利用下さい。製品に関するお問い合わせは、各施設へ。

No.	施設名	住所	電話番号	PR事項（製造・販売しています）
	町田ゆめ工房	相原町2983-157	782・1491	宮崎県産きなこ豚をふんだんに使った「ぱくぱくぎょうぎ」冷凍1パック10ヶ入450円。
	大賀藕絲館	下小山田町3267	797・1616	大賀蓮を育て、実や茎、葉を使った手作りの民芸品は、お土産に最適。
	アールフィールド	下小山田町3160	797・7646	リサイクル品や、売れ残った衣類の布でさき織、布ぞうりを作り販売。
	桜ヶ丘共働学舎	小野路町2157	734・7676	畑の作物と厳選した材料でクッキーや、廃油を原料とした石けんを作っています。
	小野路共働学舎	小野路町2203	735・7676	牛乳パックの手すきハガキ、ぬくもりのある陶芸や平飼いしたニワトリの卵も販売。
	湯舟共働学舎	小野路町1733	737・7676	再生不能だった雑古紙を原料に、トイレット・ペーパーを作っています。
	畑の家	真光寺町927-1	736・7117	土づくりから手づくりの、安心野菜、漬物やラベンダー枕、ハーブティーを販売。
	赤い屋根	大蔵町122	736・6020	国産大豆と蔵王山水を使用した「豆富」。とうふ一丁からの宅配もあり。
	花の郷 であい	大蔵町360-2	737・3248	手づくりのハーブ・バタークッキーを販売！贈り物用の箱詰めもあります。
	クラフト工房う・まの	金井5-14-18	736・1455	藍染、草木染、手織りによる染織品、アートグッズの製作。工房にて年2回展覧会も開催。
	町田かたつむりの家	野津田町168-1	736・6204	厚めで使いやすい「かたつむりふきん」を製造販売。
	まちだ福祉作業所（町田ダリア園）	山崎町1213-1	722・0538	利用者が心をこめて栽培した四季折々の草花を販売。
	ほろほろ	中町4-2-10	727・7283	国産小麦使用のパン、クッキー、ブラウニー等の焼き菓子を100円均一で販売。
	トマトハウス	原町田5-4-19	728・9779	日替わりお弁当を会社・個人宅まで1個から配達。「喫茶店・杜舞人」も営業中。
	明和荘タイムス	原町田5-4-19	726・9849	チラシ、冊子、名刺等格安での印刷や味わい深い手作り陶器の製作・販売。
	Cafe de Friends ボレボレ	原町田4-16-17	080・2027・1980	町田市民文学館の中にある喫茶スペース。手作りクッキーやマドレーヌを販売。
	シャロームの家	金森563-1	728・0128	パン、クッキー、アクセサリ、皮革小物を作っています。
	社会福祉法人地の星	成瀬2346	728・9301	国産小麦を使い、無添加の安心・安全なパン・菓子を販売。喫茶も併設。
	福祉レストランフレンズ	南成瀬5-12	727・9844	総合体育館内にあります。弁当は10個以上の予約から（配達は応相談）。

インフルエンザにご注意を！ 咳エチケットも忘れずに

「症状」

インフルエンザは普通のかぜと異なり、38 以上の発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛などの全身症状が強く、のどの痛みや咳などの症状も見られます。また小児ではまれに肺炎や熱性けいれんなどを併発したり、高齢者や呼吸器・心臓などに慢性的な病気がある人は重症化することがあるので特に注意が必要です。

「予防のポイント」

インフルエンザの感染は、インフルエンザにかかった人の咳やくしゃみなどと共に放出されたウイルスを吸い込むことで起こります。このため、以下の点に心がけることが大切です。ウイルスの侵入を防ぐ

「咳エチケットについて」

インフルエンザは、マスクをせずに咳やくしゃみをする時、しぶきと共にウイルスが2mから3m飛ぶと言われています。そこで、周囲の人に感染させないために「咳エチケット」を守りましょう。

「予防接種について」

流行前のワクチン接種は、十分に睡眠をとり、バランスの良い食事を心掛ける。室内の環境を整える。換気に心掛け、加湿器などを使って適度な湿度を保つ。



咳やくしゃみの際にはティッシュなどで口と鼻を押さえ、周りの人が顔をそむけましょう。使用後のティッシュをすぐにフタ付きのゴミ箱に捨てましょう（咳やくしゃみの際、ティッシュなどで口と鼻を押さえた時、手にウイルスがたかさん付着しますので、手洗いも忘れずに行いましょう）。咳などの症状のある人はマスクを正しく着用し、感染防止に努めましょう。

問町田市健康課（☎725・5471）、町田保健所（☎722・0621）